

## 「男＝仕事」という考え方に警鐘を鳴らす、男性学の第一人者



たなか としゆき  
**田中 俊之**

- \* 博士（社会学）
- \* 大妻女子大学人間関係学部准教授

### ■プロフィール

1975年、東京都生まれ。大妻女子大学人間関係学部准教授。主な研究分野は「男性学」。「日本では“男”であることと“働く”ということとの結びつきがあまりにも強すぎる」と警鐘を鳴らしている。男性学の第一人者としてメディアでも活躍する他、内閣府男女共同参画推進連携会議有識者議員、厚生労働省イクメンプロジェクト推進委員会委員、渋谷区男女平等推進会議委員として男女共同参画社会の推進に取り組んでいる。

### ■男性学とは？

男性学とは「男性が男性だから抱えてしまう問題」を扱う学問です。例えば、働きすぎ、自殺、そして、結婚難などが挙げられます。

### ■主な著書

男がつらいよ—絶望の時代の希望の男性学（KADOKAWA）

男が働かない、いいじゃないか！（講談社）

共著（小島慶子×田中俊之）：不自由な男たち—その生きづらさは、どこから来るのか（祥伝社新書）他多数



### 講演テーマ

「男性学から考える仕事と家庭（育児）の両立」又は「男性学から考える働き方改革」